

稚内市地域公共交通活性化協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

事業実施の目的・必要性

自家用車の普及や少子化による通学者の減少等により、バス利用者も年々減少しており、郊外路線に対する市の費用負担も増加傾向にある。
このため、「稚内市地域公共交通網形成計画」を策定し、まちづくりと一体となった持続可能な交通ネットワークの構築に向け取組みを進めているところである。
「天北地区、恵北・増幌地区」において、地域間幹線系統と接続した予約型乗合タクシーを運行し、地域住民の生活交通を確保するとともに、持続可能な交通ネットワークの構築に努める。

生活交通確保維持改善計画の目標

【目標(利用者・収支率の増加を目指す)】

■天北地区、恵北・増幌地区

- ・利用者平均416人/月(H31年～R1年9月利用者数平均379人/月より10%向上)
- ・収支率10%以上(H30年10月～R1年9月の収支率5.01%)

令和3年度事業概要

■天北地区、恵北・増幌地区乗合タクシー

・天北地区、恵北・増幌地区各戸から稚内駅前ターミナル

【市街地方面行き:5便 天北方面行き:4便】

利用料金	潮見5まで 《区間1》	南駅前まで 《区間2》	稚内駅前Tまで 《区間3》
【区域1】恵北・増幌	200円	300円	400円
【区域2】樺岡・上声間	400円	500円	600円
【区域3】沼川・川西・曙・川南・開進・豊別・天興・曲淵	500円	600円	700円

地域公共交通の現況

- 稚内空港(羽田便・新千歳便)
- JR宗谷本線(稚内駅、南稚内駅、抜海駅、勇知駅)
- 宗谷バス(株)(市内路線:9路線、天北宗谷岬線:2路線、都市間バス1路線等)
- ハートランドフェリー(株)(利尻・礼文航路)
- タクシー事業者2社(稚内日の丸交通・北都ハイヤー)
- スクールバス(7地域)

協議会開催状況(主な協議内容)

- 令和2年度第2回協議会(書面会議) R2年12月25日開催
 - ・地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(案)
- 令和2年度第3回協議会 R3年3月25日開催
 - ・生活交通改善事業計画「バリアフリー化設備等整備」(案)
- 令和3年度第1回協議会(書面会議) R3年6月17日開催
 - ・令和4年度地域内フィーダー系統確保維持計画(案)
 - ・地域公共交通ネットワークの再構築にかかる協議・検討
- 令和3年度第2回協議会(書面会議) R3年12月27日開催
 - ・地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(案)
 - ・地域公共交通ネットワークの再構築にかかる協議・検討

令和3年度事業の実施状況

1) プロセス、創意工夫

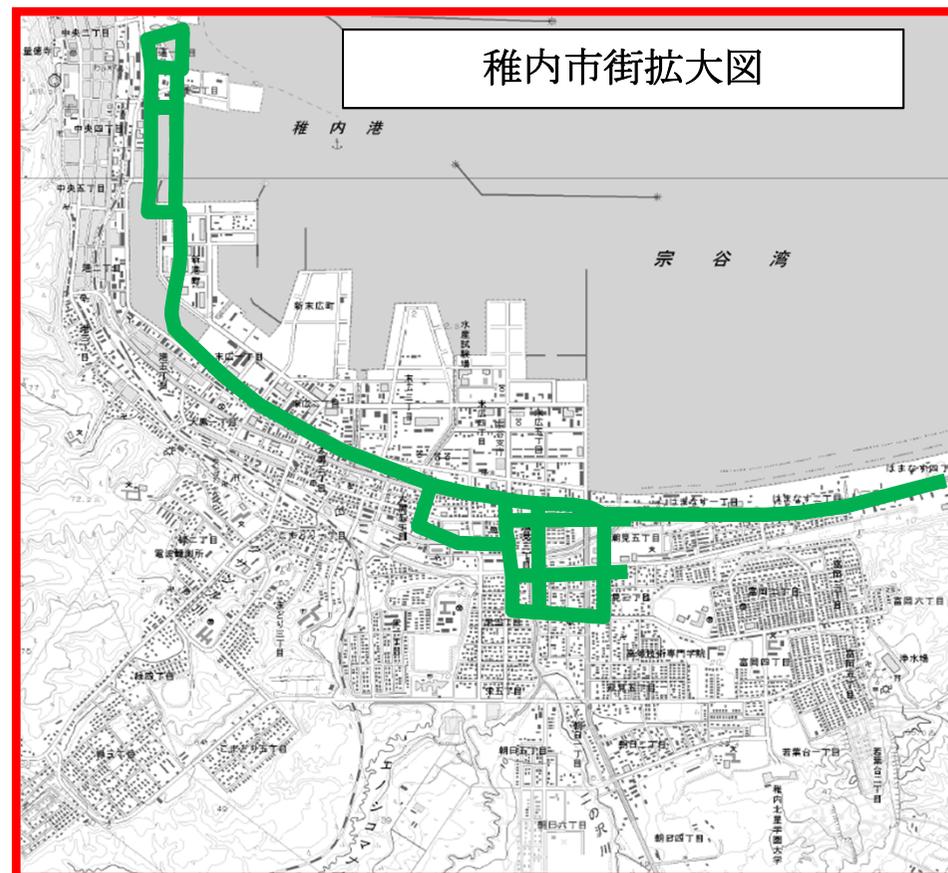
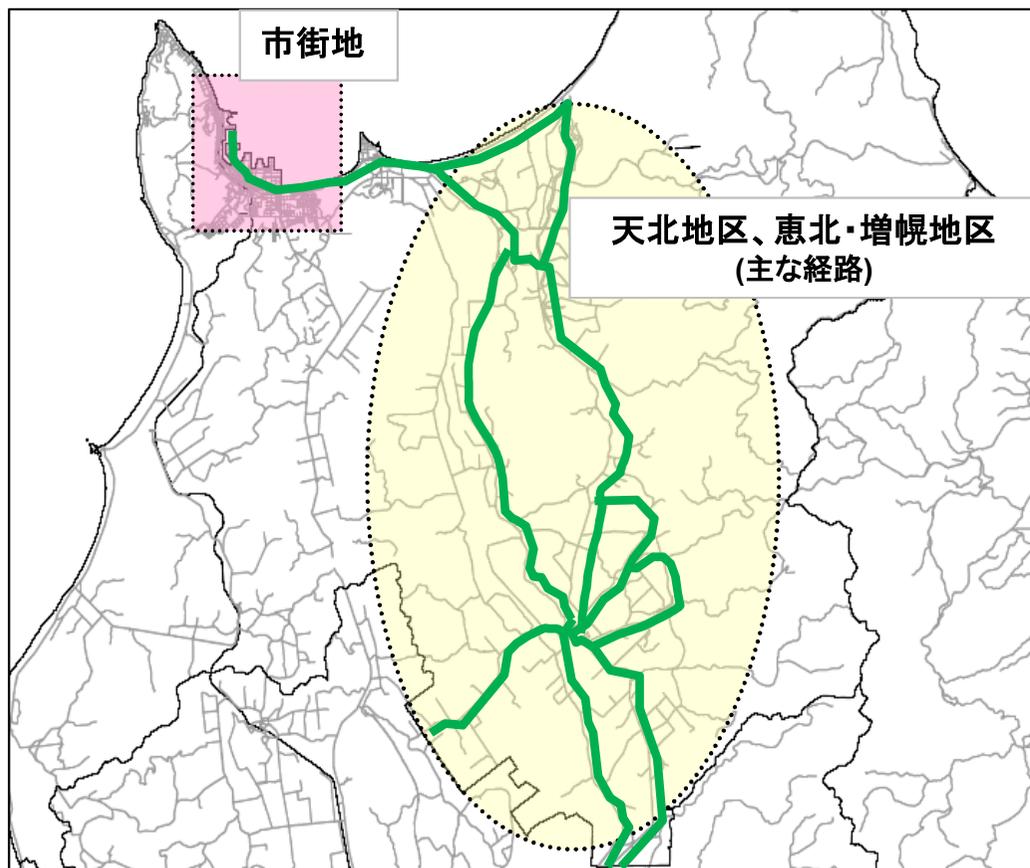
【プロセス】

- ・旧天北線バスの経路変更をはじめとする郊外バス路線の再編に伴い、代替交通としてH23年10月から本格運行となる。
- ・持続可能な交通ネットワークを確保を目指し、令和2年4月「天北地区、恵北・増幌地区乗合タクシー」の再編を実施した。

【創意工夫】

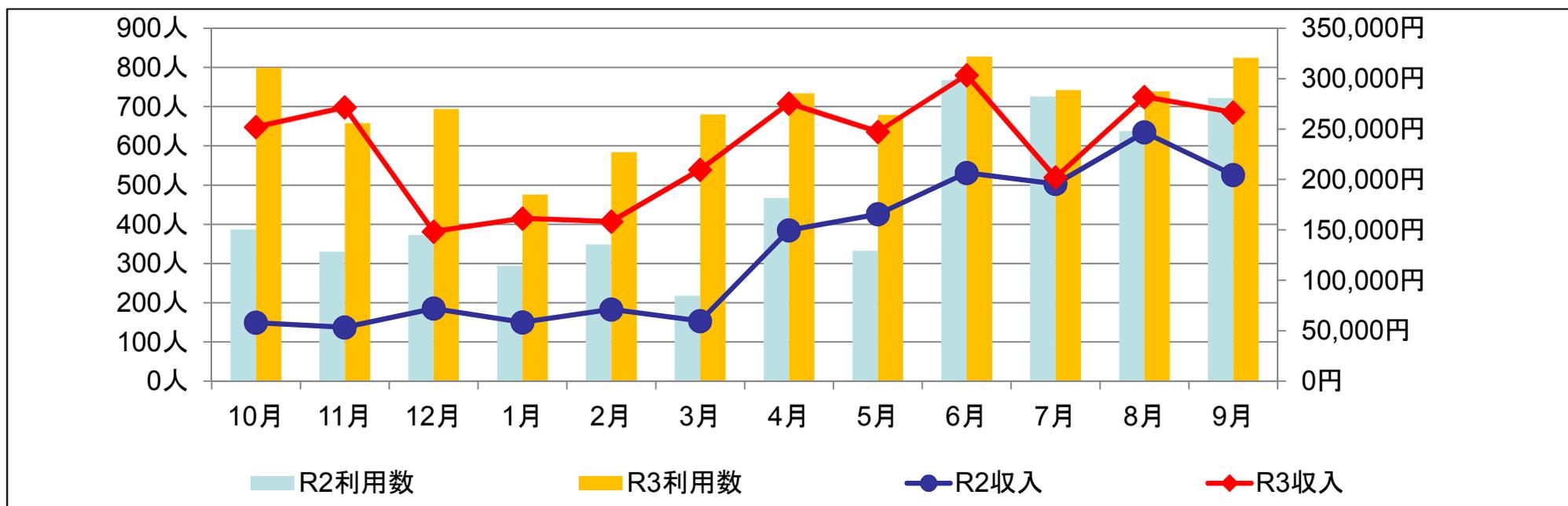
- ・路線再編後の利用状況等を把握するため、利用者アンケートを実施し、運行ダイヤの調整を行うなど利便性向上に努めた。

2) 運行系統



3) 天北地区、恵北・増幌地区の利用状況の推移

4) 収入実績



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
R2 利用者数	387	330	373	294	349	218	467	333	768	726	638	722	5,605
R3 利用者数	799	658	694	476	584	680	734	679	828	742	739	825	8,438
R2 運行収入	58,000	53,400	72,000	58,400	71,110	59,700	149,630	165,590	206,570	195,630	246,810	204,530	1,541,370
R3 運行収入	252,240	271,610	148,410	161,380	158,340	209,860	275,520	247,460	303,610	202,130	282,070	266,580	2,779,210

5) 事業実施の適切性

■天北地区、恵北・増幌地区乗合タクシー

- ・計画通り事業は適切に実施された。

7) 事業の今後の改善点

■天北地区、恵北・増幌地区乗合タクシー

- ・引き続き新規利用者の発掘を行うとともに、利用者の移動ニーズの把握に努め、持続可能な交通サービスの維持・確保に向けて、地域及び関係者と連携・協力しながら取組を進めていく。

6) 目標・効果達成状況

■天北地区、恵北・増幌地区乗合タクシー

- ・目標の平均416人/月に対して、平均703.1人/月 となった。
- ・目標収支率10%以上に対して、収支率は10.9%となった。
- ・通学・通院・通勤で利用する方が多数を占めており、地域住民の生活を支える交通インフラの役割を果たしている。

8) 地方運輸局における二次評価結果

- ・自己評価のとおり、事業は適切に実施されている。
- ・月平均利用者数・収支率ともに目標を達成することができた。引き続き地域公共交通網形成計画に基いた利用促進策の取組を継続することを期待する。
- ・持続可能な公共交通を維持する観点から、市民の移動に関する公的資金負担額等の市全体の事業効率の改善についても検証いただきたい。